



マルチデータベース対応、カラム単位の暗号化ソフト、「Protegrity DPS」リリース
～情報漏洩、個人情報保護、PCIDSSにも有効～

株式会社MONET（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：前野泰章）は、米国Protegrity社（本社：米国、マサチューセッツ）製マルチデータベース対応、カラム単位の暗号化ソフト、「Protegrity DPS」の日本国内でのリリースを発表しました。

「Protegrity DPS」(Data Protection System)は、マルチデータベースに対応したデータベースのカラム単位の暗号化ソフト。ユーザ（グループ）単位でデータベース上のデータ（カラム）の操作、閲覧権限を管理し、重要情報の漏洩、改ざんを防止します。また統合管理機能により、ポリシーの一元管理とアクセス監査を簡単に行える事から、管理コストを削減すると同時に、内部統制、PCIDSS等への対応を容易にします。

暗号鍵の導入の際、運用中のデータベースの設計変更や再インストールを必要としない手軽さに加え、Oracle、MSSQL、DB2、Infomix、Sybase、Teradata等、複数のデータベースタイプにも対応し、極めて広い応用範囲を有します。

「Protegrity DPS」は、米国では既に官公庁、流通、金融、製造といった分野の大手で多数の導入実績がある事から、MONETは日本においても同様の分野での需要を見込んでいます。10月1日に製品出荷を開始し、当面は代理店経由での販売を予定しています。

「Protegrity DPS」の主な特徴

データベース暗号化

- カラム単位での暗号化
- ユーザー（グループ）単位での閲覧、更新、削除の保護機能
- マルチデータベース対応

管理機能

- 統合管理システム（Security Manager）による暗号鍵・セキュリティポリシーの一元管理
- PCIDSS基準を満たすキーローテーションが可能
- 監査ログ機能

その他

- 既存のデータベースへ、設計変更無しでの導入が可能
- VPDisk（サーバ用暗号化ソフト）との連携

標準価格： オープンプライス

出荷開始予定日：10月1日

MONETについて

(株) MONETは、セキュリティおよびネットワークのソリューション・プロバイダーとして2002年12月に設立されました。海外の優秀なベンダーとのパートナーシップを中心に、セキュリティ関連のソフトウェアの販売、コンサルティング事業を推進しています。主な取扱製品として、統合型ログ監視・分析ソフトウェアHUNTSMAN(豪州Tier-3社)、サーバ暗号化ソフトウェアVPDisk (米国Protegrity社)、データ差分抽出アップデートソフトウェアRTPatchおよびdfc-gorilla(米国PocketSoft社)があります。

お問合せ先

株式会社MONET

ソリューション事業部 営業部

東京都千代田区外神田 4-7-5 石川興産ビル4F 〒101-0021

TEL : 03-5256-5171 FAX:03-5256-5172

Email : sales@monetz.com

H P : www.monetz.com

*本文中の会社名および製品名は、各社の登録商標または、商標です。

Copyright 2009 MONET Co., Ltd. All rights reserved.